



Opteon™ XP40

Refrigerant (R-449A)

茨城県拠点のスーパーマーケット 株式会社タイヨー様、
店舗の低温設備に次世代低 GWP 冷媒オプテオン™XP40 (R-449A) 採用

採用事例

株式会社タイヨー(本社：茨城県神栖市)は、茨城県、東京都、千葉県に39店舗を展開するスーパーマーケットです。近郊から仕入れた新鮮な食材や充実した品揃えが魅力の同社店舗は、いつも大勢のお客さんと賑わっています。

今回、創業の地である茨城県神栖市の店舗で「**オプテオン™XP40 (R-449A)**」を採用したコンデンシングユニットが導入されました。

オプテオン™XP40 (R-449A) は業務用冷凍冷蔵設備においてR-22 / R-404Aの代替として使用できる、GWP1397 (AR4) の次世代低GWP*1冷媒です。

環境負荷低減に加え、R-22 / R-404Aと比べて冷凍効率が高いことによる省エネ効果も期待できます。

*1 GWPとは温暖化係数のことで、二酸化炭素の温暖化能力を1(基準)とした場合に、各種のフルオロカーボンの温暖化能力が基準となる二酸化炭素と比較しどの程度になるかを示した指標。



同社がR-449A採用を決めた背景には、既存機器のメンテナンス用冷媒が手に入らなくなることへの懸念があります。今後の更なる規制強化により、冷媒の入手が難しくなってからでは豊富な品揃えの商品管理に影響を及ぼしかねません。

同社は関東エリアで様々な低温設備の設計・施工を手掛ける株式会社渡辺冷凍機(本社：千葉県銚子市)をはじめとする冷凍冷蔵設備業者と協力し、「eRネットワーク®」の構築に取り組みます。

これは次世代冷媒と高純度再生冷媒を組み合わせる計画的な機器更新と既設機器のメンテナンス用冷媒を包括的にサポートする、三井・ケマーズ フロロプロダクツの提案する冷媒の循環型環境対応スキームです。





次世代低 GWP 冷媒【**オプテオン™XP40(R-449A)**】採用
パナソニック製コンデンシングユニット

オプテオン™XP40(R-449A)は、オゾン層を破壊しない、地球温暖化係数(GWP)の低い
ハイドロフルオロオレフィン(HFO)系冷媒です。

最適化された性能バランスを誇り、冷蔵冷凍分野にてR-404AとR-22の代替品として利用できます。
オプテオン™ XP40 (R-449A)はエネルギー効率に優れた冷媒で、R-404Aに比べてエネルギー消費が
最大12%低減と、電力消費量の削減に貢献します。

オプテオン™XP40 (R-449A) の物性

成分	R-32 / R-125 / HFO-1234yf / R-134a
wt%	24.3 / 24.7 / 25.3 / 25.7
オゾン破壊係数	0
地球温暖化係数 AR5 (AR4)	1282 (1397)
ASHRAE 安全分類	A1
温度勾配	~4K



三井・ケマーズ フロプロダクツ株式会社

ケミカルス事業部門 環境冷媒営業部

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-17

神谷町プライムプレイス7階 TEL:050-3823-0650

Opteon™ (オプテオン™) とその商標は米国ケマーズ社が独占的に所持するものです。



[オプテオン™ 冷媒 ウェブサイト](#)